

子どもに安全をプレゼント 事故防止支援サイト

トップ > 一般用トップ > 安全チェックテスト > 9ヶ月児(以降)用チェックテスト

10. テレビ台のガラスの扉やビデオデッキのテープ口は、
赤ちゃんが手や指を入れないようにしてありますか。

はい いいえ
(使用しない)

1ヶ月児用 3ヶ月児用 6ヶ月児用 9ヶ月児用 1歳児用 1歳6ヶ月児用 3歳児用 5歳児用

Copyright (c) 2004 National Institute of Public Health, Tetsuro TANAKA All Rights Reserved.

子どもに安全をプレゼント 事故防止支援サイト

トップ > 一般用トップ > 安全チェックテスト > 9ヶ月児(以降)用チェックテスト

正解！

テレビ台のガラスの扉やビデオデッキのテープ口はカバーで覆い、
開けられないようにしておく。

これからも事故防止につとめましょう。

次のチェック項目へ

1ヶ月児用 3ヶ月児用 6ヶ月児用 9ヶ月児用 1歳児用 1歳6ヶ月児用 3歳児用 5歳児用

Copyright (c) 2004 National Institute of Public Health, Tetsuro TANAKA All Rights Reserved.

子どもに安全をプレゼント 事故防止支援サイト

トップ > 一般用トップ > 安全チェックテスト > 9ヶ月児(以降)用チェックテスト

心配です！

テレビ台のガラスの扉やビデオデッキのテープ口はカバーで覆い、
開けられないようにしておく。
テープが出たり入ったりするビデオデッキの挿入口。
赤ちゃんがおもちゃを中に入れて遊んだり、
つい手を入れてみたくなる所です。
手を入れて抜けなくなったりしないように、カバーで
おさえ手を挟む危険がふせげます。



次のチェック項目へ

1ヶ月児用 3ヶ月児用 6ヶ月児用 9ヶ月児用 1歳児用 1歳6ヶ月児用 3歳児用 5歳児用

Copyright (c) 2004 National Institute of Public Health, Tetsuro TANAKA All Rights Reserved.

子どもに安全をプレゼント 事故防止支援サイト

トップ > 一般用トップ > 安全チェックテスト > 9ヶ月児(以降)用チェックテスト

11. 自動車に乗るとき、チャイルドシートを後部座席に取り付けて使用していますか。

はい いいえ
(車は使用しない)

1ヶ月児用 3ヶ月児用 6ヶ月児用 7ヶ月児用 1歳児用 1歳6ヶ月児用 3歳児用 6歳児用

Copyright (c) 2004 National Institute of Public Health, Tetsuro TANAKA All Rights Reserved.

子どもに安全をプレゼント 事故防止支援サイト

トップ > 一般用トップ > 安全チェックテスト > 9ヶ月児(以降)用チェックテスト

正解!

車に乗せるときは年齢にあったチャイルドシートを後部座席に取り付け使用する。

これからも事故防止につとめましょう。

次のチェック項目へ

1ヶ月児用 3ヶ月児用 6ヶ月児用 7ヶ月児用 1歳児用 1歳6ヶ月児用 3歳児用 6歳児用

Copyright (c) 2004 National Institute of Public Health, Tetsuro TANAKA All Rights Reserved.

子どもに安全をプレゼント 事故防止支援サイト

トップ > 一般用トップ > 安全チェックテスト > 9ヶ月児(以降)用チェックテスト

心配です!

車に乗せるときは年齢にあったチャイルドシートを後部座席に取り付け使用する。

赤ちゃんを抱っこして車に乗るのは危険です。

車が衝突すると胸から飛び出し、頭や顔を

シートやダッシュボードにぶつけて、事故の

衝撃をまともに受けてしまいます。

また、エアバックつきの車の助手席にチャイルド

シートを取り付けるのは、衝突によって

エアバックが作動すると押しつぶされて危険です。



次のチェック項目へ

1ヶ月児用 3ヶ月児用 6ヶ月児用 7ヶ月児用 1歳児用 1歳6ヶ月児用 3歳児用 6歳児用

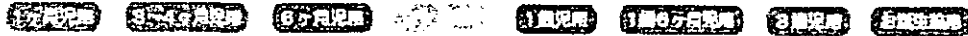
Copyright (c) 2004 National Institute of Public Health, Tetsuro TANAKA All Rights Reserved.

子どもに安全をプレゼント 事故防止支援サイト

[トップ](#) > [一般用トップ](#) > [安全チェックテスト](#) > [9ヶ月児\(以降\)用チェックテスト](#)

12. バケツや洗面器に水を貯めておくことがありますか。

はい いいえ



Copyright (c) 2004 National Institute of Public Health, Tetsuro TANAKA All Rights Reserved.

子どもに安全をプレゼント 事故防止支援サイト

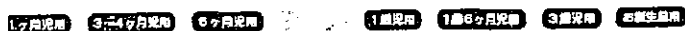
[トップ](#) > [一般用トップ](#) > [安全チェックテスト](#) > [9ヶ月児\(以降\)用チェックテスト](#)

正解！

バケツや洗面器には水をためておかない。
水槽は手の届かないところに設置する。

これからも事故防止につとめましょう。

[次のチェック項目へ](#)



Copyright (c) 2004 National Institute of Public Health, Tetsuro TANAKA All Rights Reserved.

子どもに安全をプレゼント 事故防止支援サイト

[トップ](#) > [一般用トップ](#) > [安全チェックテスト](#) > [9ヶ月児\(以降\)用チェックテスト](#)

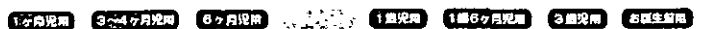
心配です！

バケツや洗面器には水をためておかない。水槽は手の届かないところに設置する。

赤ちゃんは10cm程度の浅い水深でも溺れてしまいます。バケツや洗面器にたまっている浅い水を身を乗り出してのぞき込んで見ているうちに、顔がつかって溺れしまったりするので、使い終わったら必ず水を捨てておきます。水遊びをしているときは一人にしないことです。



[次のチェック項目へ](#)



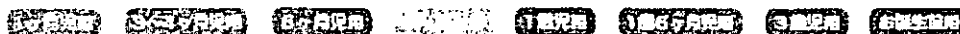
Copyright (c) 2004 National Institute of Public Health, Tetsuro TANAKA All Rights Reserved.

子どもに安全をプレゼント 事故防止支援サイト

トップ > 一般用トップ > 安全チェックテスト > 9ヶ月児(以降)用チェックテスト

13. ピーナッツやあめ玉などは赤ちゃんの手の届かない所に置いていますか。

はい いいえ



Copyright (c) 2004 National Institute of Public Health, Tetsuro TANAKA All Rights Reserved.

子どもに安全をプレゼント 事故防止支援サイト

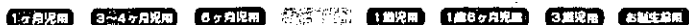
トップ > 一般用トップ > 安全チェックテスト > 9ヶ月児(以降)用チェックテスト

正解!

ピーナッツは3歳を過ぎるまでは与えない。
食べ物は硬さや大きさ、口の中に入れる量を考え、ゆっくり食べさせる。

これからも事故防止につとめましょう。

結果画面



Copyright (c) 2004 National Institute of Public Health, Tetsuro TANAKA All Rights Reserved.

子どもに安全をプレゼント 事故防止支援サイト

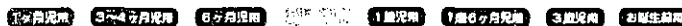
トップ > 一般用トップ > 安全チェックテスト > 9ヶ月児(以降)用チェックテスト

心配です!

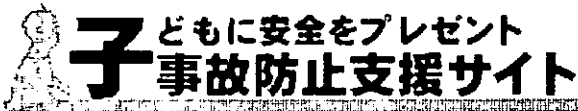
ピーナッツは3歳を過ぎるまでは与えない。
食べ物は硬さや大きさ、口の中に入れる量を考え、ゆっくり食べさせる。
赤ちゃんの口の大きさは最大直径32mmなので、これより小さなおもちゃなどは口の中ですっぽり入ってしまったり、食べ物が飲み込めないで喉につかえてしまったりします。赤ちゃんの喉はまだ未発達なので、気管に物が入りやすく、ピーナッツや枝豆などの豆類を与えるのは危険です。
豆類は赤ちゃんの気管をふさいでしまう大きさで、気管に入っているのに気がつかないと、肺の炎症を起こしてしまいます。



結果画面



Copyright (c) 2004 National Institute of Public Health, Tetsuro TANAKA All Rights Reserved.



一般用トップページ

[トップ](#) > [一般用トップ](#) > [安全チェックテスト](#) > [9ヶ月児\(以降\)用チェックテスト](#)

チェック結果
正解した問題数は・・・！

10個／13問中

[もう一度チェックを行う](#)

[1ヶ月児用](#)

[3～4ヶ月児用](#)

[6ヶ月児用](#)

[9ヶ月児用](#)

[1歳児用](#)

[1歳6ヶ月児用](#)

[3歳児用](#)

[お誕生前用](#)

Copyright (c) 2004 National Institute of Public Health , Tetsuro TANAKA All Rights Reserved.

子どもの事故防止と市町村への事故対策支援に関する研究

市町村における子どもの事故防止対策の取り組み状況の
追跡調査について

分担研究者 佐原康之 和歌山県福祉保健部健康局長

研究要旨：本研究では、「健やか親子21」において2010年までにすべての市町村で実施することとされている、子どもの事故防止対策の健診の場での取組状況について、平成13年度に実施した「乳幼児の事故防止に関する実態調査」を基に、全市町村を対象に追跡調査を実施した。

その結果、平成13年度に比べると市町村における事故防止対策は、3～4か月児及び1歳6か月児健診における、パンフレットの配布や集団指導における取組みは広がりつつあるが、逆にチェックリストを使用しているの個別、集団の保健指導は減少傾向にあった。

また、事故防止対策を実施するにあたっては、健診時に説明・指導のできるマンパワー及び時間の確保が必須であるが、適切な無償の教材等があれば可能であり、健診時の集団指導の中での実施を望んでいることが明らかとなった。

A. 研究目的

わが国の人口動態統計によれば、医学の進歩、衛生状況の改善等により病気により死亡する子どもは格段に少なくなったが、1～4歳、5～9歳、10～14歳の各年齢階級において「不慮の事故」は、長らく子どもの死因の第一位となっている。なかでも1～4歳期の乳幼児期における「不慮の事故」は、他の年齢階層と異なり交通事故死のみならず、窒息死、溺死、転倒・転落による死亡が多数を占めており、家庭内外での事故防止対策は、小児保健における重要課題となっている。

「健やか親子21」では、2010年までに全ての市町村で事故防止の取組みが行われるべきとされており、平成13年度、全国の市町村がどのような事故防止の取組みを行っているのか調査¹⁾を行ったところ、60%以上の市町村が、事故防止に関するパンフレットの配布を行い、何らかの事故予防対策に取り組んでいることが明らかとなった。しかし、教材を用いた個別指導や集団指導、チェックリストの使用等のより積極的な取組みを行っている市町村は3～4ヶ月健診では32.6%、1歳6ヶ月健診では28.6%であった。

この調査結果に基づいて、健やか親子21における事故防止の取組みのベースラインが策定された。

乳幼児健診の場を通じて、より多くの保護者に事故防止の知識を啓発できること、また3～4か月児、1歳6か月児での年齢段階に応じた

指導がより効果的であるといわれることから、本研究では、これらの乳幼児健診時の事故防止対策について、2年前の調査時と比較し、実施市町村がどの程度増加したかを追跡調査することとした。加えて、いまだ取組みがなされていない市町村については、どのようにすれば実施することができるかを問う意向調査を行い、今後の市町村での取組みについて検討した。

B. 研究方法

平成16年1月5日から平成16年1月16日まで、全市町村における事故防止対策の実施に関する具体的な質問内容を盛り込んだアンケート調査用紙（別紙1）を、全国3,176の市町村に郵送により配布し、回収された調査用紙を集計した。1,669の市町村から回答が得られ、有効回答数は1,669（有効回答率52.6%）であった。

C. 研究結果

（1）平成15年度に、各市町村が、3～4か月児健診、1歳6か月児健診を利用して実施した事故防止対策の取組状況は、【乳幼児の事故防止に関する実態調査】に示すとおりであった。（ ）内は実施している市町村の割合（%）を示す。

1) 保護者にパンフレットを配布する。

3～4か月児健診 (67.0)

1歳6か月児健診 (63.1)

2) パンフレットを基に、保護者に説明する。

3～4か月児健診 (43.9)

1歳6か月児健診 (35.5)

3) 事故防止のための安全チェックリストを保護者に配布する。

3～4か月児健診 (15.9)

1歳6か月児健診 (11.2)

4) 事故防止のための安全チェックリストを保護者に配布し、健診のときにチェックする。

3～4か月児健診 (2.2)

1歳6か月児健診 (2.4)

5) 事故防止のための安全チェックリストの結果から必要な人のみ媒体を用い個別指導する。

3～4か月児健診 (0.9)

1歳6か月児健診 (0.7)

6) 事故防止のための安全チェックリストの結果から必要な人のみ、媒体を用い、グループワーク等を行う。

3～4か月児健診 (0.1)

1歳6か月児健診 (0.1)

7) 今まで実施してきた集団指導の中に、事故防止の内容を盛り込む。

3～4か月児健診 (19.8)

1歳6か月児健診 (13.5)

(2) 平成16年度に、各市町村が、3～4か月児健診、1歳6か月児健診を利用して実施予定の事故防止対策は【乳幼児の事故防止に関する実態調査】に示すとおりであった。()内は実施予定の市町村の割合(%)を示す。

1) 保護者にパンフレットを配布する。

3～4か月児健診 (70.0)

1歳6か月児健診 (65.2)

2) パンフレットを基に、保護者に説明する。

3～4か月児健診 (48.1)

1歳6か月児健診 (39.4)

3) 事故防止のための安全チェックリストを保護者に配布する。

3～4か月児健診 (18.8)

1歳6か月児健診 (14.8)

4) 事故防止のための安全チェックリストを保護者に配布し、健診のときにチェックする。

3～4か月児健診 (4.6)

1歳6か月児健診 (4.8)

5) 事故防止のための安全チェックリストの結果から必要な人のみ媒体を用い個別指導する。

3～4か月児健診 (1.6)

1歳6か月児健診 (1.6)

6) 事故防止のための安全チェックリストの結果から必要な人のみ、媒体を用い、グループワーク等を行う。

3～4か月児健診 (0.3)

1歳6か月児健診 (0.4)

7) 今まで実施してきた集団指導の中に、事故

防止の内容を盛り込む。

3～4か月児健診 (23.6)

1歳6か月児健診 (16.8)

(3) 平成16年度に3～4か月児健診、1歳6か月児健診において、「パンフレット、安全チェックリストの配布」、及び「パンフレット、チェックリストを基に保護者に説明する」を実施しない市町村がどのようにすれば実施できるかについて、必要であると考える項目は以下の通りである。()内は最も必要と考える項目を選択した市町村の割合(%)を示す。

1) 健診時に保護者にパンフレットを配布する。

無償のパンフレットがあれば実施できる。(57.7)

2) パンフレットをもとに保護者に説明する。

説明時間の確保が出来れば実施できる。(48.0)

3) 保護者に安全チェックリストを配布する。

無償の安全チェックリストがあれば実施できる。(61.7)

4) 保護者に配布した安全チェックリストのチェックをする。

説明時間の確保が出来れば実施できる。(40.2)

(4) 平成16年度に3～4か月児健診、及び1歳6か月児健診において、「対象者のみ個別指導」、「対象者のみグループワーク」及び「全受診者対象の集団指導に事故防止の内容を含む」を実施しない市町村が、実施するには望ましい方法と考える項目は以下の通りである。

()内は必要と考える項目を選択した市町村の割合(%)を示す。

全受診者対象の集団指導に事故防止の内容を含む(56.8)

・対象者のみ個別指導(36.6)

・対象者のみグループワーク(6.6)

(5) (4)で選択された項目を実施するために必要とされる項目は以下の通りである。

()内は、選択された割合(%)を示す。

・母子保健担当者や母子保健推進員等のボランティアに対する研修が必要(48.8)

・事故予防の指導手順を示すフローチャートが必要(47.4)

D. 考察

今回の追跡調査の結果を平成13年度の全

国調査と比較すると、市町村が「事故防止に関するパンフレットを配布する」は3～4か月児健診で9.6%、1歳6か月児健診で5.5%の増加、「パンフレットを基に保護者に説明する」はそれぞれ9.4%、4.2%の増加で、平成13年度と比較して有意 ($p < 0.01$) に増加していることが明らかになった。また、「今まで実施してきた集団指導の中に、事故防止の内容を盛り込む」についても、3～4か月児健診では7.3%、1歳6か月児健診では4.7%の増加を示し、有意差 ($P < 0.01$) が認められた。このことは、健やか親子21の全国的な推進により、市町村の意識の向上が図られていることを示唆する。

しかしながら、保護者等の行動変容をもたらすきっかけになると考えられる、チェックリストを用いた個別指導 ($p < 0.01$) やグループワーク ($p < 0.05$) については、13年度と比較して有意に減少している。この要因としては、健診が育児不安を軽減したり、虐待を発見できる場へと変化しており、時間的な制約もあり実施しにくい現状が考えられる。また、市町村によっては、医療機関での個別健診形態をとっているところもあり、健診の場において集団指導ができない実情もある。

次に、まだ取り組みがなされていない市町村について、どのようにすれば実施できるかを調査した。パンフレット、安全チェックリストの配布については、印刷物の無償配布があれば実施できると考えている市町村が約60%を占めた。また月齢や発達に合わせたものがあればよいと答える市町村も約35%と多かった。

「パンフレット、チェックリストを基に保護者に説明する」については、人的な制約がある中でも、保護者への説明時間の確保があればできると答える市町村が半数近くを占めた。

保護者に対して保健指導するにあたっては、対象者のみの個別指導・グループワークでの実施方法より、全受診者対象に集団指導の方が実施しやすいと答える市町村が56.8%を占めた。

またこれらの保健指導を実施するためには、母子保健担当者や母子保健推進員等のボランティアに対する研修や、事故予防の指導手順を

示すフローチャートが必要であると答える市町村が多かった。

追跡調査の結果から、以下のような検討課題が考えられる。

1 市町村が乳幼児健診時に、無償で配布できるような月齢、発達に応じた「パンフレット」など、インターネット等からダウンロードできる必要がある。

2 安全チェックリストの利用は、前回の調査結果から、市町村が事故防止の取組みに必要なものとしてあげられているが、現段階で普及している状況とは言えない。

このためさらなる普及を進めるためには、「安全チェックリスト」の一般利用化が必要である。これについては、全国共通となる標準的なチェックリストを子どもの事故防止を研究している国立保健医療科学院のホームページ等に掲載することで、市町村での取り組みがさらに進むものと考えられる。

3 乳幼児健診において、保護者等への指導を適切に行い、効率的に実施していくためには、標準的な事故防止指導の手順を示したフローチャートを作成する必要がある。

4 市町村での乳幼児の事故防止を効果的に実施するためには、母子保健担当者のみならず、子どもにかかわるすべての関係者を対象とする研修や指導方法を解説したマニュアルを作成する必要がある。さらに、消防、保育所、地域子育て支援センター、医療機関、母子保健推進員等のボランティアと連携し、事故防止の協力体制を築いていくことが重要である。

参考文献

1) 佐原康之：市町村の事故対策の支援方法についての研究（平成13年度厚生科学研究（子ども家庭総合研究事業）報告書）

2) 田中哲郎、佐原康之：「健やか親子21」取り組み目標のベースラインの作成（平成13年度厚生科学研究（子ども家庭総合研究事業）報告書）

乳幼児の事故防止に関する実態調査

別紙1

乳幼児の事故防止に関する取り組みについてご記入をお願いします。

問1 乳幼児健診を利用した事故防止対策として15年度に実施する（実施した）内容について、該当する欄すべてに○をつけてください。

項目 \ 事業名	3～4か月児健診	1歳6か月児健診
1 保護者にパンフレットを配布する。		
2 パンフレット等を基に、保護者に説明する		
3 事故防止のための安全チェックリストを保護者に配布する。		
4 事故防止のための安全チェックリストを保護者に配布し、健診の時にチェックする。		
5 事故防止のための安全チェックリストの結果から必要な人のみ、媒体を用い、個別指導する。		
6 事故防止のための安全チェックリストの結果から必要な人を集めて、媒体を用い、グループワーク等を行う。		
7 今まで実施してきた集団指導の中に、事故防止の内容を盛り込む。		

問2 乳幼児健診を利用した事故防止対策として16年度に実施する予定の内容について、該当する欄すべてに○をつけてください。

項目 \ 事業名	3～4か月児健診	1歳6か月児健診
1 保護者にパンフレットを配布する。		
2 パンフレット等を基に、保護者に説明する		
3 事故防止のための安全チェックリストを保護者に配布する。		
4 事故防止のための安全チェックリストを保護者に配布し、健診の時にチェックする。		
5 事故防止のための安全チェックリストの結果から必要な人のみ、媒体を用い、個別指導する。		
6 事故防止のための安全チェックリストの結果から必要な人を集めて、媒体を用い、グループワーク等を行う。		
7 今まで実施してきた集団指導の中に、事故防止の内容を盛り込む。		

問3 問2における各項目(1~4に限る)の記載欄、3~4か月児健診・1歳6か月児健診時のどちらにも○がつかなかった市町村にお聞きします。各項目の事業についてどのようにすれば実施できますか。最も必要と思う選択肢一つに○をつけてください。
(どちらかに○がついた項目については、回答していただく必要はありません)

1. 項目1(健診時に保護者にパンフレットを配布する)
 - ア. 保護者に配布する無償のパンフレットがあれば実施できる。
 - イ. 保護者に配布するパンフレットを作成・購入する予算があれば実施できる。
 - ウ. 保護者に配布する乳幼児の月齢・発達にあわせたパンフレットがあれば実施できる。
2. 項目2(パンフレットをもとに保護者に説明する)
 - ア. 集団健診時のスタッフの確保ができれば実施できる。
 - イ. 集団健診時における説明時間の確保ができれば実施できる。
 - ウ. 故防止教育用の指導者向けマニュアル(指導内容・指導方法等)があれば実施できる。
3. 項目3(保護者に安全チェックリストを配布する)
 - ア. 保護者に配布する無償の安全チェックリストがあれば実施できる。
 - イ. 保護者に配布する安全チェックリストを作成・購入する予算があれば実施できる。
 - ウ. 保護者に配布する乳幼児の月齢・発達にあわせたチェックリストがあれば実施できる。
4. 項目4(保護者に配布した安全チェックリストのチェックをする)
 - ア. 集団健診時のスタッフの確保ができれば実施できる。
 - イ. 集団健診時における説明時間の確保ができれば実施できる。
 - ウ. チェックリストの指導者向けマニュアル(指導内容・指導方法等)があれば実施できる。

問4 問2における各項目(5~7に限る)の記載欄、3~4か月児健診・1歳6か月児健診時の全てに○がつかなかった市町村にお聞きします。問2の項目5. 6. 7について貴市町村で実施するとすれば、どのような方法が望ましいですか。最も必要と思うもの一つに○をつけてください。

- ア. 項目5(対象者のみ個別指導)
- イ. 項目6(対象者のみグループワーク)
- ウ. 項目7(全受診者対象の集団指導を含む)

問5. 問4で選んだ項目を実施するために必要と思われる、主なもの二つに○をつけてください。

- ア. 事故防止啓発用の乳幼児の年齢に応じたビデオを国が作成し、全市町村への無償配布が必要である。
- イ. 母子保健担当者や母子保健推進員等のボランティアを含めた事故防止に関する研修が必要である。
- ウ. 母子保健推進員等ボランティアの協力が必要である。
- エ. 医療機関・消防等他の機関との連携が必要である。
- オ. 誤飲チェッカーや視野メガネ等事故予防グッズの教材整備が必要である。
- カ. 標準的な事故予防指導の手順を示したフローチャートが必要である。
- キ. その他()

◎ ご協力ありがとうございました。

_____ 都・道・府・県
_____ 市・町・村

担当課 _____
記入者名 _____
TEL _____

乳幼児の事故防止に関する実態調査集計

15年度に実施した内容(「はい」の回答率)

問1

	項 目	3～4ヶ月児健診(%)			1歳6ヶ月児健診(%)		
		平成15年	平成13年	差	平成15年	平成13年	差
1	保護者にパンフレットを配布する	67.0	57.4	9.6	63.1	57.6	5.5
2	パンフレット等を元に保護者に説明する	43.9	34.5	9.4	35.5	31.3	4.2
3	事故防止のための安全チェックリストを保護者に配布する	15.9	14.5	1.4	11.2	14	▲ 2.8
4	事故防止のための安全チェックリストを保護者に配布し、健診の時にチェックする	2.2	5.9	▲ 3.7	2.4	6.8	▲ 4.4
5	事故防止のための安全チェックリストの結果から必要な人のみ、媒体を用い個別指導する	0.9	3.1	▲ 2.2	0.7	3.8	▲ 3.1
6	事故防止のための安全チェックリストの結果から必要な人のみ、媒体を用い、グループワーク等を行う	0.1	0.5	▲ 0.4	0.1	0.5	▲ 0.4
7	今まで実施してきた集団指導の中に、事故防止の内容を盛り込む	19.8	12.5	7.3	13.5	8.8	4.7

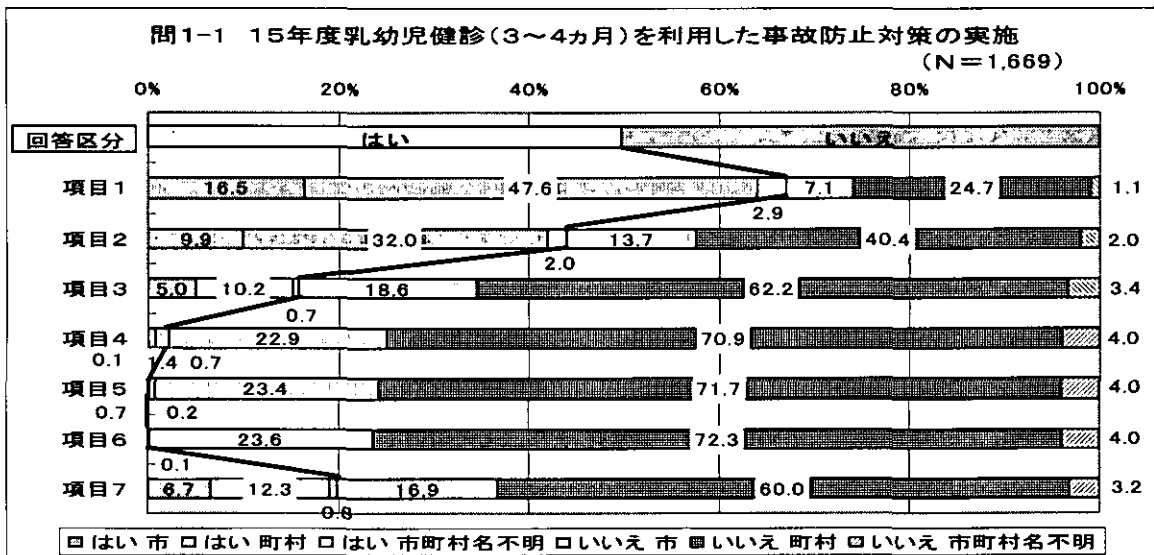
【乳幼児の事故防止に関する実態調査】

各問の調査対象項目の内容は以下の通りである。

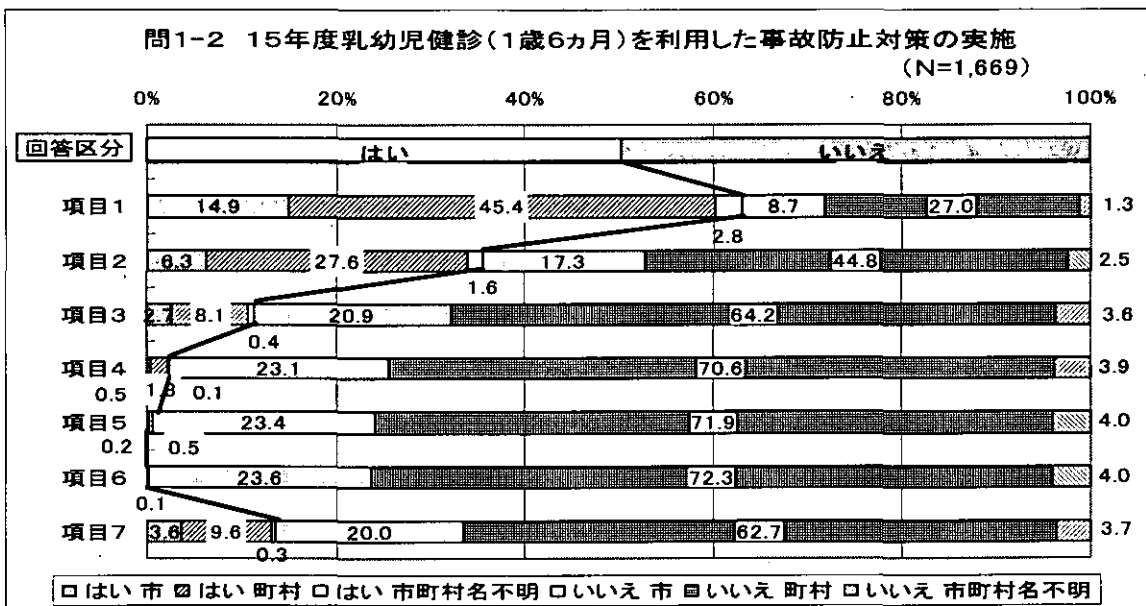
- 項目1: 保護者にパンフレットを配布する。
- 項目2: パンフレット等を基に、保護者に説明する。
- 項目3: 事故防止のための安全チェックリストを保護者に配布する。
- 項目4: 事故防止のための安全チェックリストを保護者に配布し、健診時にチェックする。
- 項目5: 事故防止のための安全チェックリストの結果から必要な人のみ、媒体を用い、個別指導する。
- 項目6: 事故防止のための安全チェックリストの結果から必要な人を集めて、媒体を用い、グループワークを行う。
- 項目7: 今まで実施してきた集団指導の中に、事故防止の内容を盛り込む。

1. 【問1】乳幼児健診を利用した事故防止対策として平成15年度に実施する（実施した）内容。

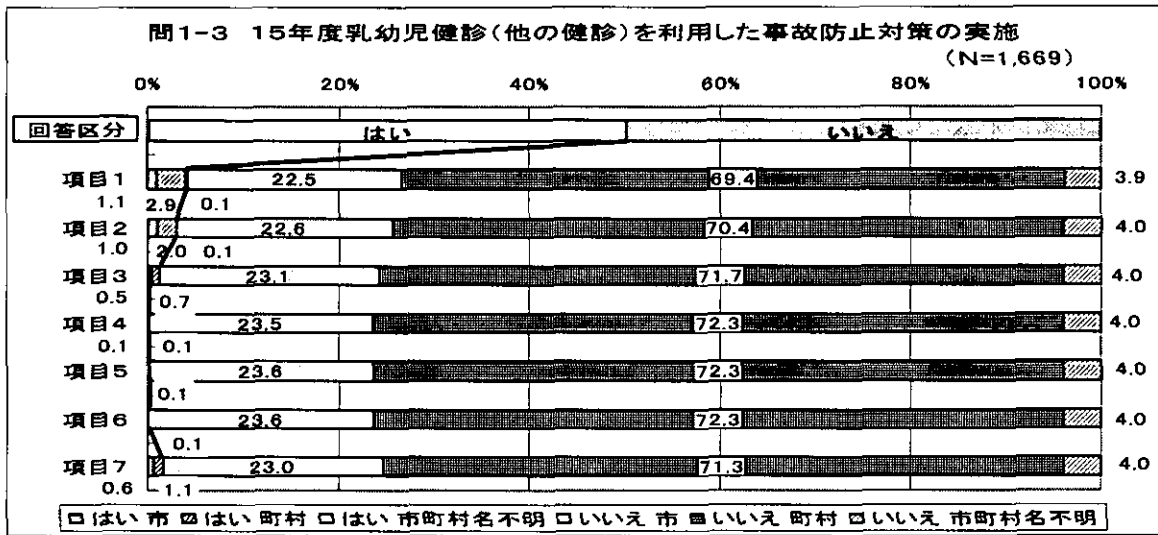
(1) 3～4ヶ月児健診



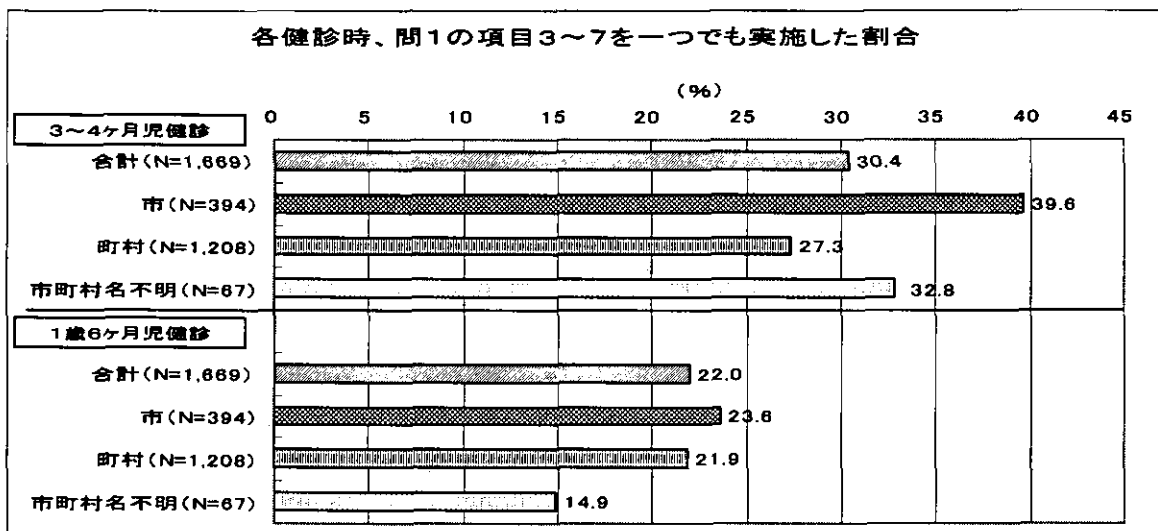
(2) 1歳6ヶ月児健診



(3) 他の健診のみ

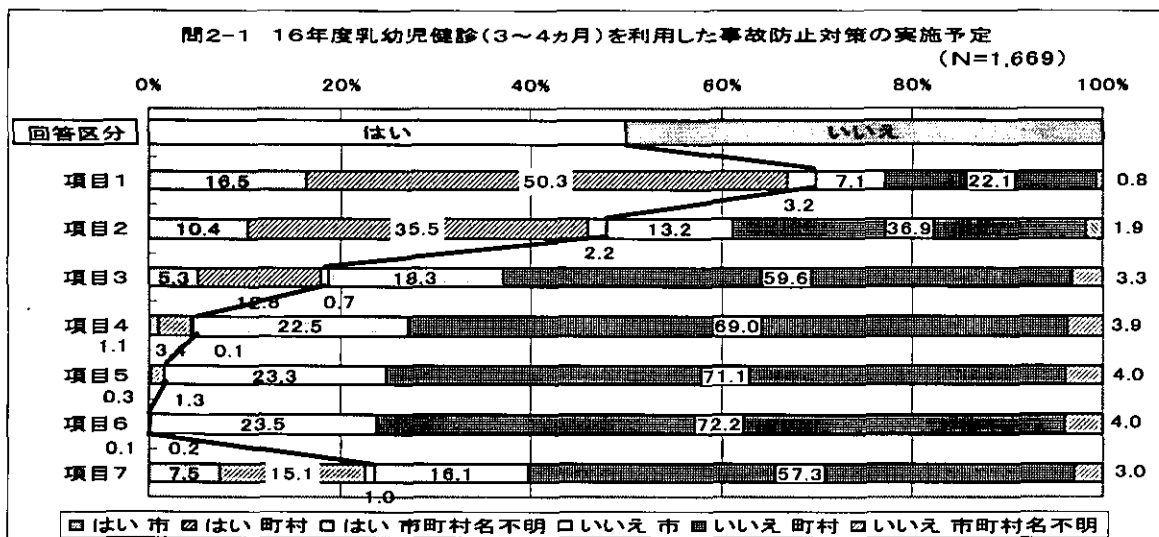


(4) 問1の項目3～7について、3～4ヶ月児健診、1歳6ヶ月児健診別に、いずれかの項目に○印(はい)がついた市町村別の割合。

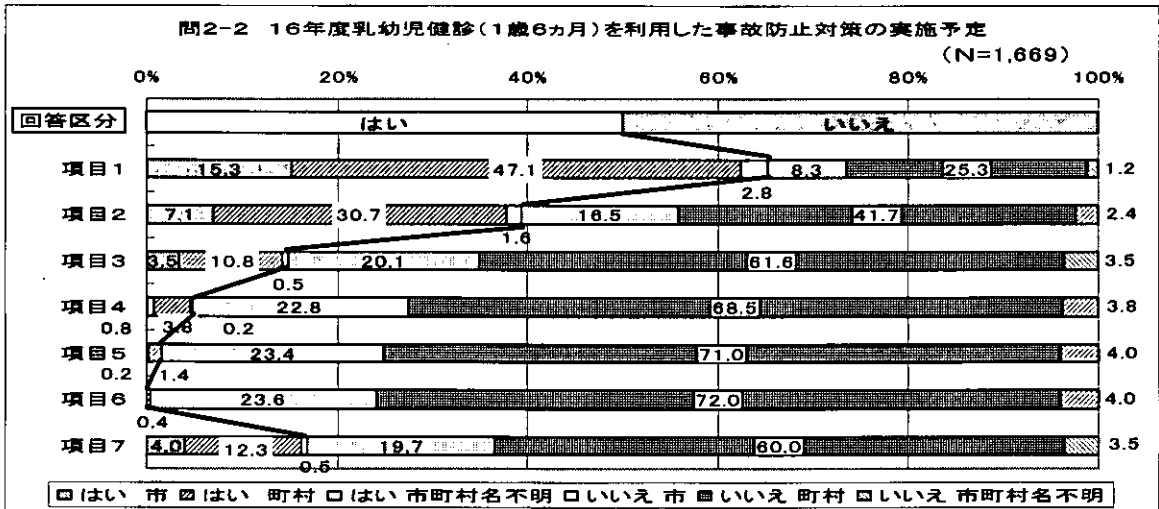


2. 【問2】乳幼児健診を利用した事故防止対策として平成16年度に実施予定内容。

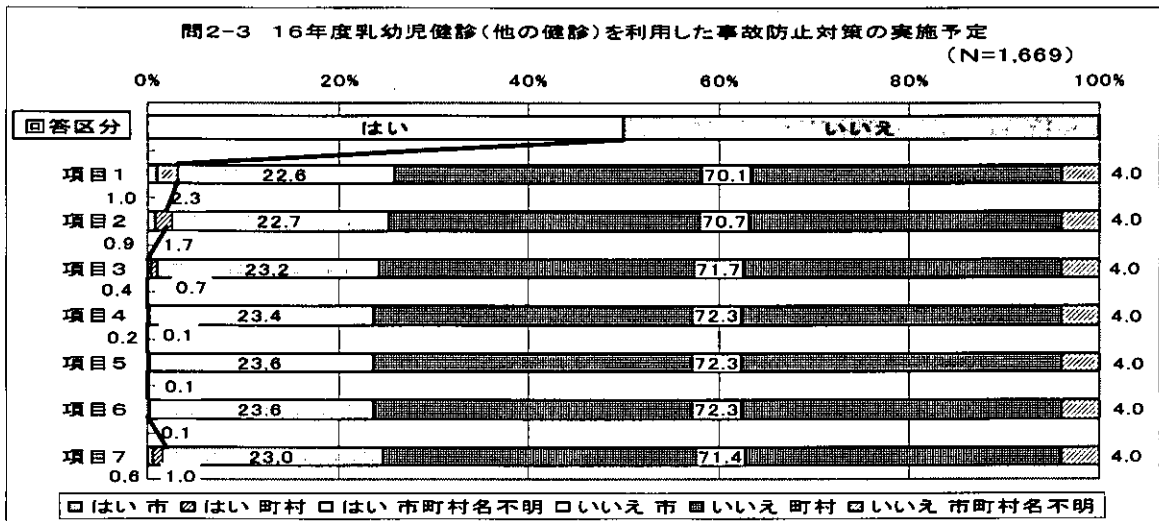
(1) 3～4ヶ月児健診



(2) 1歳6ヶ月児健診

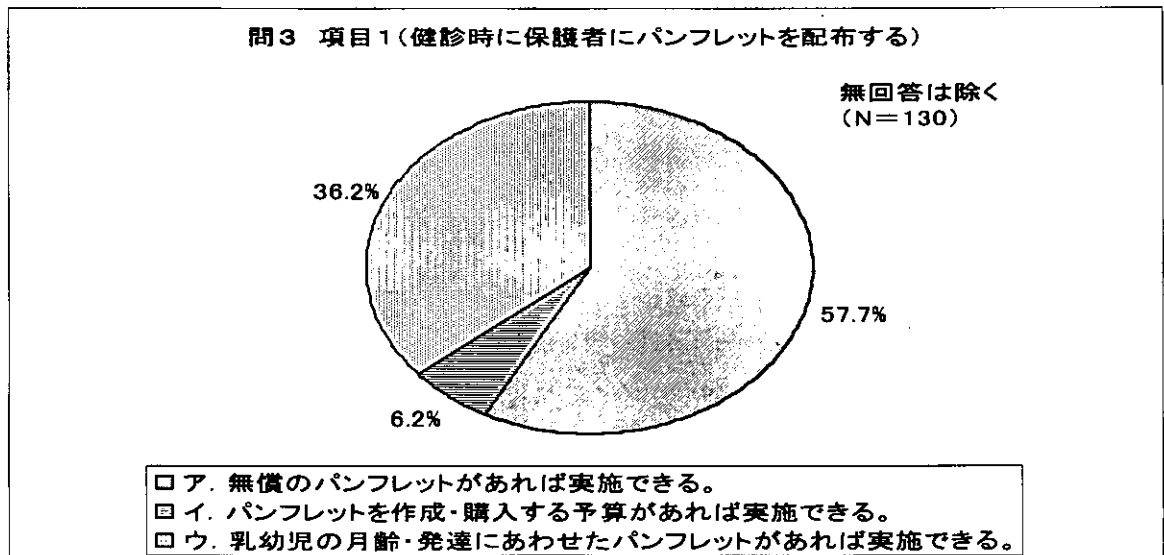


(3) 他の健診のみ

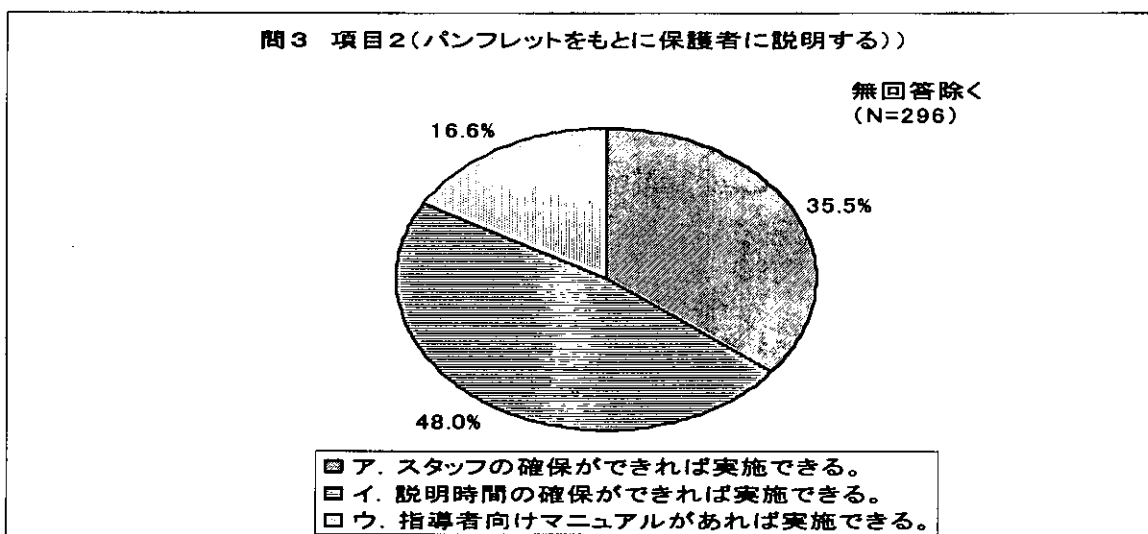


3. 【問3】問2における各項目(1~4に限る)の記載欄、3~4ヶ月児健診・1歳6ヶ月児健診時のどちらにも○がない場合の各項目の最も必要と思う選択肢

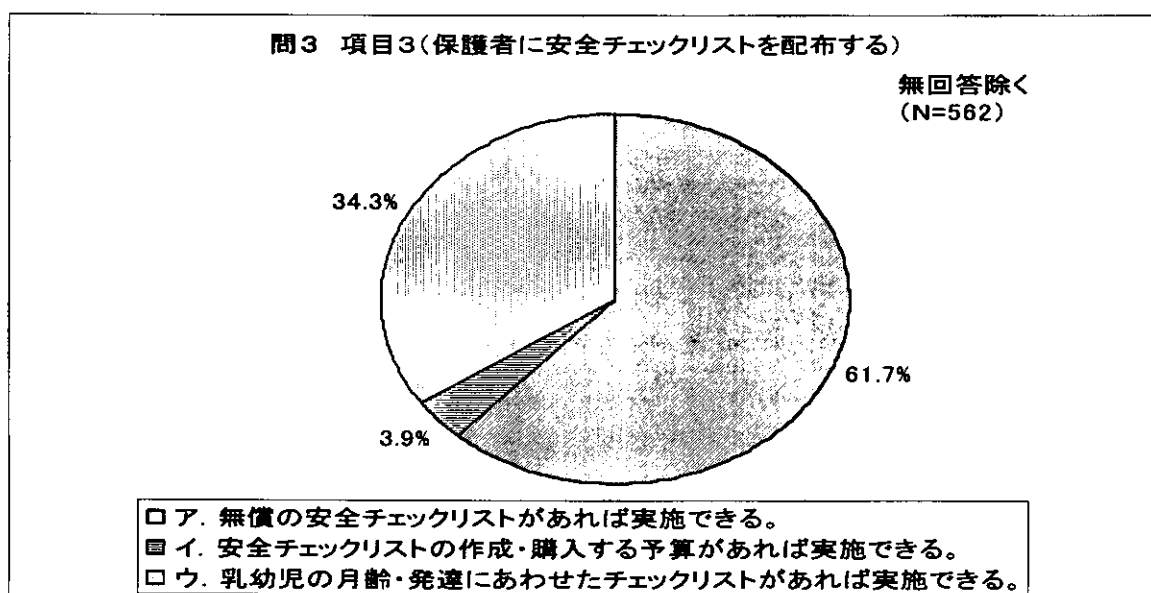
(1) 項目1(健診時に保護者にパンフレットを配布する)



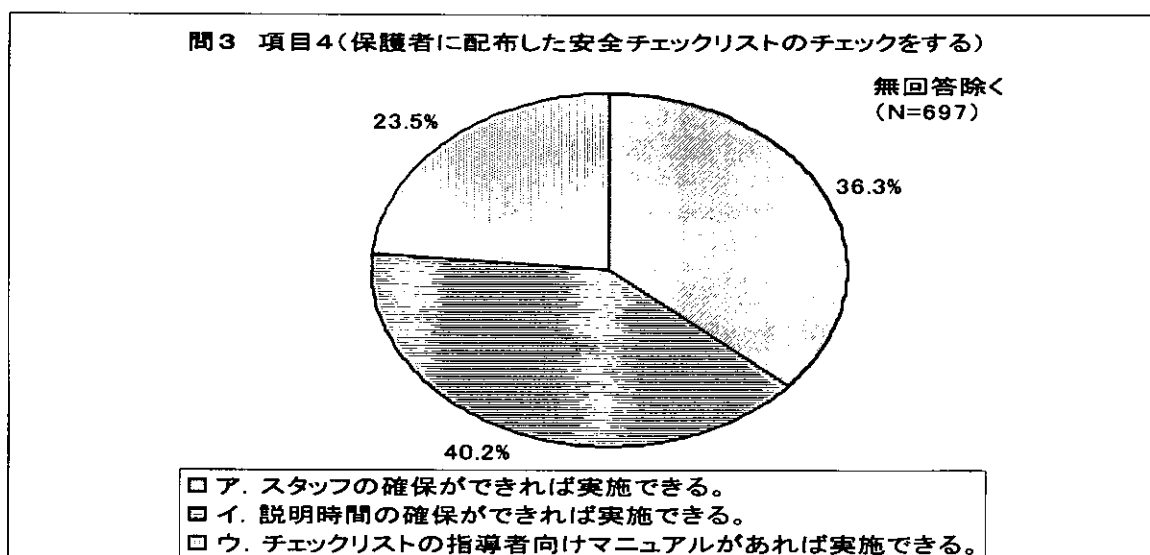
(2) 項目 2 (パンフレットをもとに保護者に説明する)



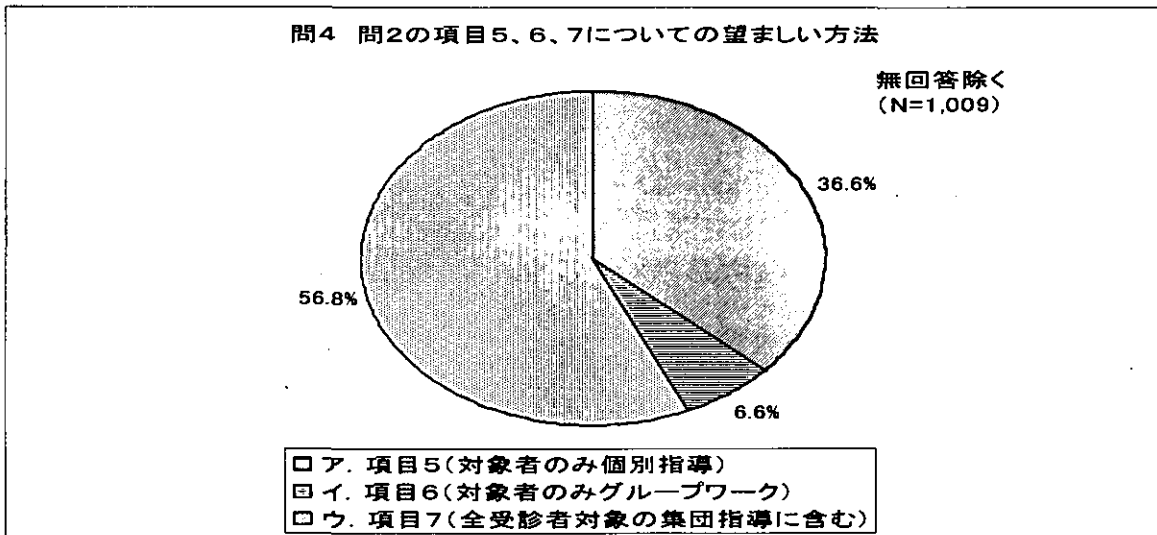
(3) 項目 3 (保護者に安全チェックリストを配布する)



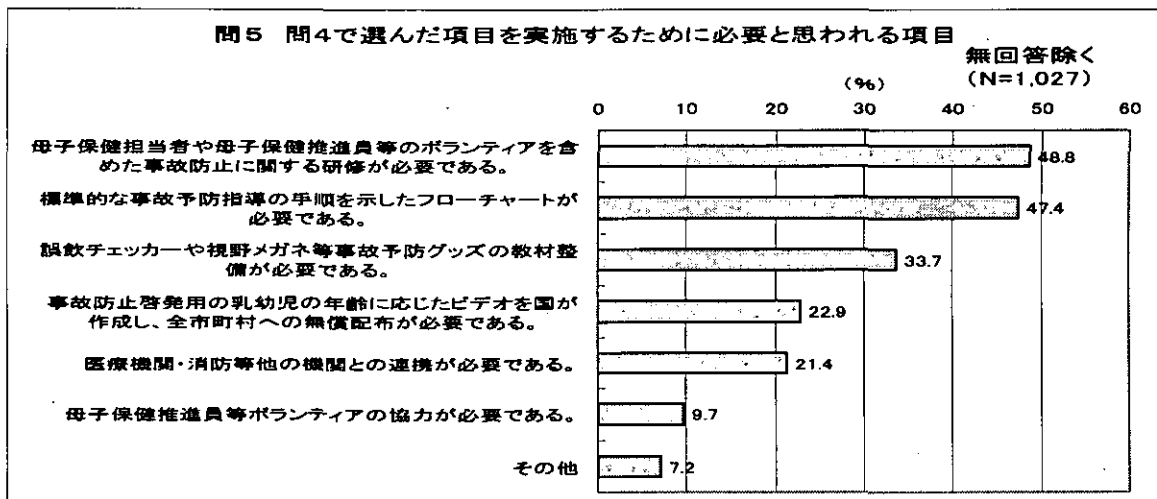
(4) 項目 4 (保護者に配布した安全チェックリストのチェックをする)



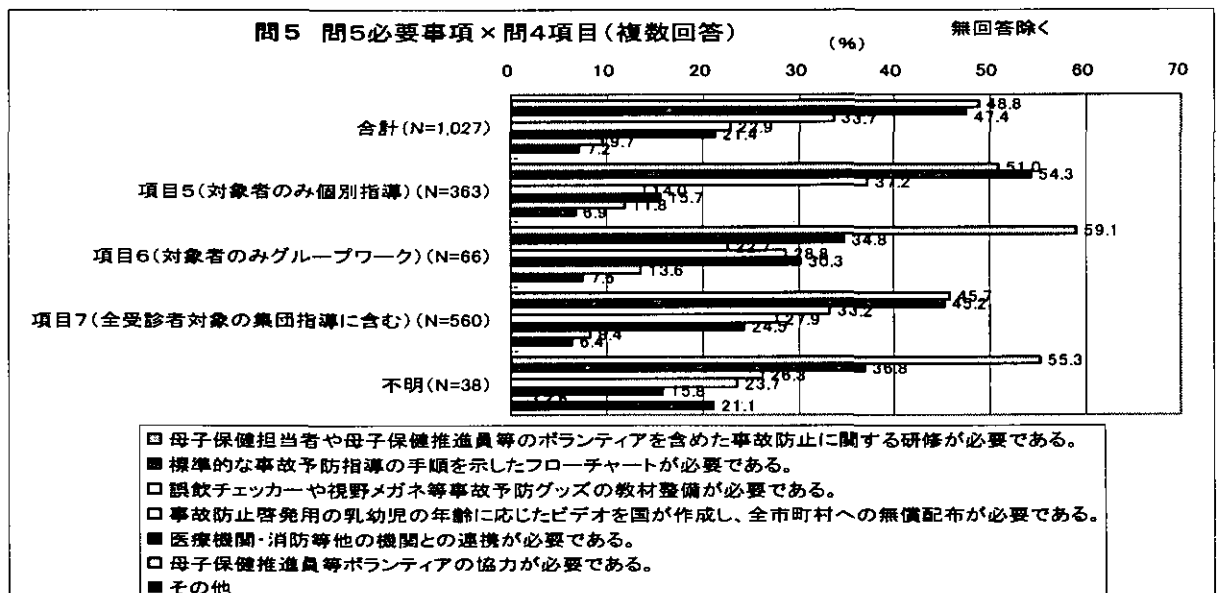
4. 【問4】問2における各項目（5～7に限る）の記載欄、3～4ヶ月児健診・1歳6ヶ月健診時の全てに○がつかなかった市町村で、問2の項目5. 6. 7を実施する場合は望ましい方法。



5. 【問5】問4で選んだ項目を実践するために必要と思われる、主な項目。
 (1) 単純集計結果



(2) 各項目とのクロス集計結果



6. 資料 各問の数値表

【問1】乳幼児健診を利用した事故防止対策として平成15年度に実施する(実施した)内容。

(1) 3~4ヶ月児健診

問1-1

上段:件数 下段:%	全数	はい				いいえ			
		市	町村	市町村名不明	合計	市	町村	市町村名不明	合計
項目1	1,669	275	795	49	1,119	119	413	18	550
	100.0	16.5	47.6	2.9	67.0	7.1	24.7	1.1	33.0
項目2	1,669	166	534	34	734	228	674	33	935
	100.0	9.9	32.0	2.0	44.0	13.7	40.4	2.0	56.0
項目3	1,669	84	170	11	265	310	1,038	56	1,404
	100.0	5.0	10.2	0.7	15.9	18.6	62.2	3.4	84.1
項目4	1,669	12	24	1	37	382	1,184	66	1,632
	100.0	0.7	1.4	0.1	2.2	22.9	70.9	4.0	97.8
項目5	1,669	3	11	0	14	391	1,197	67	1,655
	100.0	0.2	0.7	0.0	0.8	23.4	71.7	4.0	99.2
項目6	1,669	0	2	0	2	394	1,206	67	1,667
	100.0	0.0	0.1	0.0	0.1	23.6	72.3	4.0	99.9
項目7	1,669	112	206	13	331	282	1,002	54	1,338
	100.0	6.7	12.3	0.8	20	16.9	60.0	3.2	80.2

(2) 1歳6ヶ月児健診

問1-2

上段:件数 下段:%	全数	はい				いいえ			
		市	町村	市町村名不明	合計	市	町村	市町村名不明	合計
項目1	1,669	249	758	46	1,053	145	450	21	616
	100.0	14.9	45.4	2.8	63.1	8.7	27.0	1.3	36.9
項目2	1,669	105	461	26	592	289	747	41	1,077
	100.0	6.3	27.6	1.6	35.5	17.3	44.8	2.5	64.5
項目3	1,669	45	136	7	188	349	1,072	60	1,481
	100.0	2.7	8.1	0.4	11.3	20.9	64.2	3.6	88.7
項目4	1,669	8	30	2	40	386	1,178	65	1,629
	100.0	0.5	1.8	0.1	2.4	23.1	70.6	3.9	97.6
項目5	1,669	3	8	0	11	391	1,200	67	1,658
	100.0	0.2	0.5	0.0	0.7	23.4	71.9	4.0	99.3
項目6	1,669	0	2	0	2	394	1,206	67	1,667
	100.0	0.0	0.1	0.0	0.1	23.6	72.3	4.0	99.9
項目7	1,669	60	161	5	226	334	1,047	62	1,443
	100.0	3.6	9.6	0.3	13.5	20.0	62.7	3.7	86.5

(3) 他の健診のみ

問1-3

上段:件数 下段:%	全数	はい				いいえ			
		市	町村	市町村名不明	合計	市	町村	市町村名不明	合計
項目1	1,669	18	49	2	69	376	1,159	65	1,600
	100.0	1.1	2.9	0.1	4.1	22.5	69.4	3.9	95.9
項目2	1,669	16	33	1	50	378	1,175	66	1,619
	100.0	1.0	2.0	0.1	3.0	22.6	70.4	4.0	97.0
項目3	1,669	8	12	0	20	386	1,196	67	1,649
	100.0	0.5	0.7	0.0	1.2	23.1	71.7	4.0	98.8
項目4	1,669	2	2	0	4	392	1,206	67	1,665
	100.0	0.1	0.1	0.0	0.2	23.5	72.3	4.0	99.8
項目5	1,669	0	2	0	2	394	1,206	67	1,667
	100.0	0.0	0.1	0.0	0.1	23.6	72.3	4.0	99.9
項目6	1,669	0	1	0	1	394	1,207	67	1,668
	100.0	0.0	0.1	0.0	0.1	23.6	72.3	4.0	99.9
項目7	1,669	10	18	0	28	384	1,190	67	1,641
	100.0	0.6	1.1	0.0	1.7	23.0	71.3	4.0	98.3

(4) 問1の項目3～7について、3～4ヶ月児健診、1歳6ヶ月児健診別に、いずれかの項目に○印(はい)がついた市町村別の割合。

健診		全体件数	実施なし	必ず1つは実施あり	実施した割合(%)
3～4ヶ月児健診	合計	1,669	1,161	508	30.4
	市	394	238	156	39.6
	町村	1,208	878	330	27.3
	市町村名不明	67	45	22	32.8
1歳6ヶ月児健診	合計	1,669	1,302	367	22.0
	市	394	301	93	23.6
	町村	1,208	944	264	21.9
	市町村名不明	67	57	10	14.9

【問2】乳幼児健診を利用した事故防止対策として平成16年度に実施予定内容。

(1) 3～4ヶ月児健診

問2-1

上段:件数 下段:%	全数	はい				いいえ			
		市	町村	市町村名不明	合計	市	町村	市町村名不明	合計
項目1	1,669	276	839	53	1,168	118	369	14	501
	100.0	16.5	50.3	3.2	70.0	7.1	22.1	0.8	30.0
項目2	1,669	173	592	36	801	221	616	31	868
	100.0	10.4	35.5	2.2	48.1	13.2	36.9	1.9	52.0
項目3	1,669	88	213	12	313	306	995	55	1,356
	100.0	5.3	12.8	0.7	18.8	18.3	59.6	3.3	81.2
項目4	1,669	19	57	2	78	375	1,151	65	1,591
	100.0	1.1	3.4	0.1	4.6	22.5	69.0	3.9	95.4
項目5	1,669	5	21	0	26	389	1,187	67	1,643
	100.0	0.3	1.3	0.0	1.6	23.3	71.1	4.0	98.4
項目6	1,669	1	3	0	4	393	1,205	67	1,665
	100.0	0.1	0.2	0.0	0.3	23.5	72.2	4.0	99.7
項目7	1,669	125	252	17	394	269	956	50	1,275
	100.0	7.5	15.1	1.0	23.6	16.1	57.3	3.0	76.4

(2) 1歳6ヶ月児健診

問2-2

上段:件数 下段:%	全数	はい				いいえ			
		市	町村	市町村名不明	合計	市	町村	市町村名不明	合計
項目1	1,669	255	786	47	1,088	139	422	20	581
	100.0	15.3	47.1	2.8	65.2	8.3	25.3	1.2	34.8
項目2	1,669	119	512	27	658	275	696	40	1,011
	100.0	7.1	30.7	1.6	39.4	16.5	41.7	2.4	60.6
項目3	1,669	59	180	8	247	335	1,028	59	1,422
	100.0	3.5	10.8	0.5	14.8	20.1	61.8	3.5	85.2
項目4	1,669	14	64	3	81	380	1,144	64	1,588
	100.0	0.8	3.8	0.2	4.8	22.8	68.5	3.8	95.1
項目5	1,669	3	23	0	26	391	1,185	67	1,643
	100.0	0.2	1.4	0.0	1.6	23.4	71.0	4.0	98.4
項目6	1,669	0	6	0	6	394	1,202	67	1,663
	100.0	0.0	0.4	0.0	0.4	23.6	72.0	4.0	99.8
項目7	1,669	66	206	8	280	328	1,002	59	1,389
	100.0	4.0	12.3	0.5	16.8	19.7	60.0	3.5	83.2

(3) 他の健診のみ

問2-3

上段:件数 下段:%	全数	はい				いいえ			
		市	町村	市町村名不明	合計	市	町村	市町村名不明	合計
項目1	1,669	16	38	0	54	378	1,170	67	1,615
	100.0	1.0	2.3	0.0	3.2	22.6	70.1	4.0	96.8
項目2	1,669	15	28	0	43	379	1,180	67	1,626
	100.0	0.9	1.7	0.0	2.6	22.7	70.7	4.0	97.4
項目3	1,669	6	11	0	17	388	1,197	67	1,652
	100.0	0.4	0.7	0.0	1.0	23.2	71.7	4.0	99.0
項目4	1,669	3	2	0	5	391	1,206	67	1,664
	100.0	0.2	0.1	0.0	0.3	23.4	72.3	4.0	99.7
項目5	1,669	0	2	0	2	394	1,206	67	1,667
	100.0	0.0	0.1	0.0	0.1	23.6	72.3	4.0	99.9
項目6	1,669	0	2	0	2	394	1,206	67	1,667
	100.0	0.0	0.1	0.0	0.1	23.6	72.3	4.0	99.9
項目7	1,669	10	17	0	27	384	1,191	67	1,642
	100.0	0.6	1.0	0.0	1.6	23.0	71.4	4.0	98.4

【問3】問2における各項目（1～4に限る）の記載欄、3～4ヶ月児健診・1歳6ヶ月児健診時のどちらにも〇がない場合の各項目の最も必要と思う選択肢

(1) 項目1（健診時に保護者にパンフレットを配布する）

問3 項目1

項目	無回答含む場合		無回答除く場合	
	件数	%	件数	%
ア. 無償のパンフレットがあれば実施できる。	75	28.7	75	57.7
イ. パンフレットを作成・購入する予算があれば実施できる。	8	3.1	8	6.2
ウ. 乳幼児の月齢・発達にあわせたパンフレットがあれば実施できる。	47	18.0	47	36.2
無回答	131	50.2		
合計	261	100.0	130	100.0

(2) 項目2（パンフレットをもとに保護者に説明する）

問3 項目2

項目	無回答含む場合		無回答除く場合	
	件数	%	件数	%
ア. スタッフの確保ができれば実施できる。	105	14.4	105	35.5
イ. 説明時間の確保ができれば実施できる。	142	19.5	142	48.0
ウ. 指導者向けマニュアルがあれば実施できる。	49	6.7	49	16.6
無回答	433	59.4		
合計	729	100.0	296	100.0

(3) 項目3（保護者に安全チェックリストを配布する）

問3 項目3

項目	無回答含む場合		無回答除く場合	
	件数	%	件数	%
ア. 無償の安全チェックリストがあれば実施できる。	347	34.9	347	61.7
イ. 安全チェックリストの作成・購入する予算があれば実施できる。	22	2.2	22	3.9
ウ. 乳幼児の月齢・発達にあわせたチェックリストがあれば実施できる。	193	19.4	193	34.3
無回答	433	43.5		
合計	995	100.0	562	100.0

(4) 項目4（保護者に配布した安全チェックリストのチェックをする）

問3 項目4

項目	無回答含む場合		無回答除く場合	
	件数	%	件数	%
ア. スタッフの確保ができれば実施できる。	253	16.1	253	36.3
イ. 説明時間の確保ができれば実施できる。	280	17.8	280	40.2
ウ. チェックリストの指導者向けマニュアルがあれば実施できる。	164	10.4	164	23.5
無回答	876	55.7		
合計	1,573	100.0	697	100.0

【問4】問2における各項目（5～7に限る）の記載欄、3～4ヶ月児健診・1歳6ヶ月健診時の全てに○がつかなかった市町村で、問2の項目5、6、7を実施する場合の望ましい方法。

項目	無回答含む場合		無回答除く場合	
	件数	%	件数	%
ア. 項目5(対象者のみ個別指導)	369	30.9	369	36.6
イ. 項目6(対象者のみグループワーク)	67	5.6	67	6.6
ウ. 項目7(全受診者対象の集団指導を含む)	573	48.0	573	56.8
無回答	185	15.5		
合計	1,194	100.0	1,009	100.0

【問5】問4で選んだ項目を実践するために必要と思われる、主な項目。

上段:件数 下段:%	全体件数	母子保健担当者や 母子保健推進員等 のボランティアを含 めた事故防止に関 する研修が必要で ある。	標準的な事故予防 指導の手順を示し たフローチャートが 必要である。	図教チェッカーや視 野メガネ等事故予 防グッズの教材整 備が必要である。	事故防止啓発用の 乳幼児の年齢に応 じたビデオを国が作 成し、全市町村へ の無償配布が必要 である。	医療機関・消防等 他の機関との連携 が必要である。	母子保健推進員等 ボランティアの協力 が必要である。	その他
合計	1,027	501 48.8	487 47.4	348 33.7	235 22.8	220 21.4	100 9.7	74 7.2
項目5(対象者のみ個別指導)	363	185 51.0	197 54.3	135 37.2	51 14.0	57 15.7	43 11.8	25 6.9
項目6(対象者のみグループワーク)	66	39 59.1	23 34.8	15 22.7	19 28.8	20 30.3	9 13.6	5 7.6
項目7(全受診者対象の集団指導を含む)	560	256 45.7	253 45.2	186 33.2	156 27.9	137 24.5	47 8.4	35 6.4
不明	38	21 55.3	14 36.8	10 26.3	8 23.7	8 15.8	1 2.6	8 21.1